

No. 144

# 泉の自治だより

題字 額 健二

発行所 泉町連合区  
 発行責任者 連合区会長 額 健二  
 事務局 (泉公民館内)  
 土岐市泉中郷町 TEL 55-3653  
 編集部 長 安藤 義雄



ホームページから見られます

## 泉町新年歩け歩け大会開催

令和五年元日泉町文化・スポーツ協議会主催による泉町新年歩け歩け大会が開催されました。午前10時土岐市駅前駐車場で額連連合区会長のあいさつにはじまり号砲と共にスタートしました。大島公園横を通り泉小学校前、廿二夜碑跡を巡り、窯公園や大徳原球場脇を抜け泉西小学校裏から泉西公民館までの5km強を所用約一時間半のコースです。

ゴールの泉西公民館では到着順にお茶と完歩証・抽選券が渡され、最終1

ゴールの泉西公民館では到着順にお茶と完歩証・抽選券が渡され、最終1



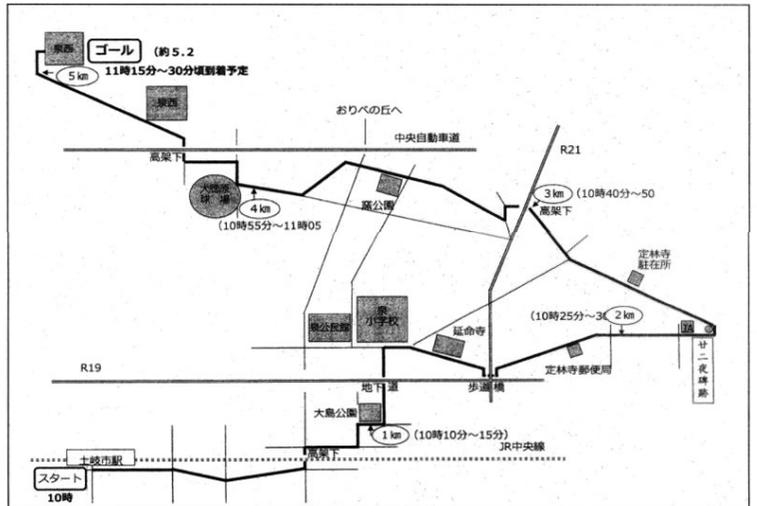
泉西公民館での抽選会の様子



ゴール一番乗り



スタート地点  
土岐市駅前駐車場で記念撮影



### 自治会活動で感じたこと

泉町連合区会長 額 健二

1 初めに  
 今年の冬は、例年になく寒さを厳しく感じましたが、泉町の皆様はいかがお過ごしでしょうか。二年間の泉町連合会長の職もあとわずかとなりました。この二年間の自治会活動で感じたことを述べたいと思います。

2 コロナ禍での活動  
 コロナの流行が真つ盛りとして動めてきましたが、国の方針や地方行政機関の指示に従っての自治会活動はどうしても縮小され、泉町連合区本体のみならず泉町各区での活動も中止や延期をよぎなくされました。自治会活動は地域のコミュニケーションの促進役としての役割を持っていますが、夏祭りや運動会等の行事は軒並み中止となり本意な結果となりました。令和四年度の途中からは泉町文化祭(旧：公民館まつり)を始め、泉町

3 役員のみならず不足問題  
 昔のサラリーマンは60歳定年が当たり前でしたが、現在は65歳まで働くことが一般的となり、また65歳以降も働く方も増えています。したがって、私の区長時代が大変苦労しましたが、次期役員も選任が難しくなっています。役を受けた当初から次期役員を選任を真剣に取り組まない、なかなか大変な事となります。新年度役員の皆様には心してほしいと思います。自治会活動に携わって初めて、前任者の苦労が理解できました。前任役員の方々には任期満了後、後任の方への良きアド

4 終わりに  
 新年度からはコロナ対応の変化により、従前の活動に戻れます。泉町民の皆様が安全・安心、そして楽しく行事に参加できることを心より願っています。また、自治会活動への要望等も遠慮なくお申し出ください。

5 お詫び  
 泉の自治だより十二月十五日号の誤字脱字等への真摯なご意見をいただきました。責任者である私の監督責任を強く感じております。読者の方々へ不快な思いをさせてしまったこと、誠に申し訳ありませんでした。以後しっかりと校正をするように強く指導いたしました。今後もご意見を賜り、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。

民野球大会や新年歩け歩け大会を実施することができ、正直ホッと胸をなでおろすことができました。コロナに対する感染分類も、五月上旬からは改められるように聞いています。感染症の区分が「2類」から「5類」になる予定で、従前の自治会活動ができるようになります。ありがたく感じています。やっと長かった三年間にサヨナラできることになりました。ただし制限された三年間での活動に慣れた三ヶ月、各区の役員の後任者への引継ぎやパトナタッチがおろそかにならないよう注意しないとイケません。泉町連合区会の中でその点を十分に徹底していきま

ザイザイとして見守って助けてあげてください。どんな組織活動も中に入ってみないと大変さはわからないものです。いろんなボランティア組織のおかげで、日々の生活が安定していることが理解できました。

泉町民の皆様には、もし役員の話が舞い込んできた場合には、どうか前向きに検討をしていただきますようお願いいたします。



### 一年を振り返って

河合区長 加藤謙示

昨年二月に役員の方々が自宅に見えて、「区長を引き受けてくれないか」との事でびっくりしました。四月になり何も解らないまま、昨年の区長宮崎顧問のご指導でどうにかスタートをきる事ができました。

最初の行事は溝さらえと草刈りです。草刈りはコロナ禍のため中止させていたいただきましたが、草にとつてコロナは関係無いようで例年以上に伸びました。草刈りは実施すべくでありと反省しております。

秋にかけて河合公民館・岩野公民館・憩いの家跡・賤河道・茸山山道・甘草池・賤洞ため池等草刈りを行い河合区は草刈りが多いと率直に思いました。それに河合区も高齢化が進み苦勞されて草刈りをされている姿を見つづ草刈り機がない家も増えたことを考えると、今後の草刈りのあり方を考える時期に来ているなあと感じました。

東濃フロンティア高校の学校運営協議会に出席させていただきました。先生のお話を聞き、授業も見学させていただきました。そこで感じたことは、「この生徒は『本当の自由を探しているのではないか』と思いませんか」と思いました。

東濃特別支援学校の運営協議会にも出席させていただきました。この学校で感じたことは「この子たちは本当の自由を知っているのではないか」と思いました。私なりに勉強させてもらいました。

みつば保育園では、クリスマス会に招待していただきサンタクロースになってきました。園児さんに本物のサンタクロースに会えたという純真な目で迎えていただき心は気恥ずかしいやら申しわけないやら、この歳で久しぶりに心が洗われました。

このように区長でないで体験できないことを経験勉強させていただきました。

今年も夏祭り、秋祭りは中止としましたが、地域コミュニケーションが少なくなり触れ合いが減ることを寂しく感じました。

この一年間、大きな災害事故もなく過ぎましたことは、皆様のご協力のおかげで感謝申し上げます。

河合区がより楽しく生活できる地域となること

と、区民皆様のご健勝を祈願いたしまして挨拶とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



### 一年を振り返って

定林寺区長 土本達嗣

振り返ればあわただしい一年となりました。見聞きすること全てが慣れないこと、立場ゆえの責任を受け止めることに一杯でした。

活動する中で我が町に大切なこととして、稲荷神社と観音堂の存在を再認識しました。稲荷神社は区で支える存在であり、現在の組織に定着したことは大きな意味を持つものと考えています。

巫女舞の華やかさも欠かせないものと思えます。また観音堂の「九万九千日祭」は、コロナ禍の影響で中止しているような状況ですが、これは定



林寺の伝統と考えます。今年度はこの大事な行事を安全にかつ快適に遂行できるよう整備に努めました。

自己満足になってしま探整備することで安全な空間になったと思っております。あと大きな課題として考える事は、青道と称する水路廻りの土の流出による崩れ具合です。それが、修繕が出来ないまま残ってしまったことが悔やまれます。

他にも実行出来なかつたことを思い出しますが、町内会長さんを筆頭に役員の方々、そして区民の皆さんのご理解とご協力をいただいたからこそ、微力ではありましたが区長としての活動を終えることができます。

心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



### 一年間を振り返って

感謝

大富区長 成瀬幸芳

私が区長を引き受ける返事をしたのが、令和三年十月十六日(土)の夕方でした。それから、新年度が始まる四月までの間、引継ぎ事務に並行して四月開催予定の総会・初顔合わせ他、各種会

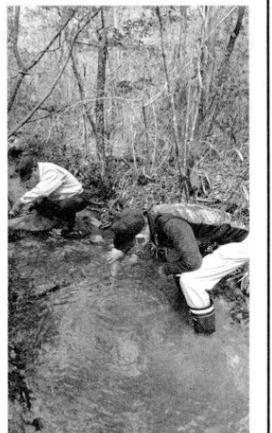
合の案内状の作成・送付等、本当に気が抜けない日々を過ごした記憶がよみがえってきます。

新型コロナウイルスの影響で各種行事(夏祭り、秋祭り、餅投げ他)が出来なかつた過去2年間の皆様の悔しさを何と今今年度こそは実施できないものかと関係者の皆様、先輩の方々と協議を重ねてきました

が、やはり新型コロナウイルスの脅威を考えると「野外行事であつてもどうしようも密になつてしまふ」ことは避けられず難しい判断を迫られた結果、断念せざるを得なかつたことは誠に残念で悔しい思ひしかありません。

是非とも来年度は環境が変化し、各種伝統行事が実施でき継承されていくことを願っております。

大富区には自然豊かな里山(大富山)がありま



虫の幼虫を放流

す。春、暖かくなると紅色の美しい小花のハナノキ、シテコブシなど全国でも有数の群生地で、貴重で美しい植物が咲き美佐野街道筋から観賞することができます。

夏になると「大富山を愛する会」の皆様地道な活動によって、虫が飛ぶ姿を見ることが出来ます。少しでも安全・安心な暮らしが続きますよう願っております。(写真下)

(写真右) 虫の幼虫を放流 この美佐野街道を中心とした大富山の貴重な植物などの自然環境を保護するため、今年も「大富山を愛する会」、「TOTOウオシレットテクノ(株)」の皆様と共に草刈り等、整備活動を実施しました。(写真左)

今年も全国各地でゲリラ豪雨による土砂崩れ等の自然災害が多く発生し

森林被害の危険があつた仲木池南側堤防の大きな樹

また、仲森公園に隣接する農業用水路の柵に蓋が無かつたことから、公園に遊び来る子供たちの転落事故防止のため蓋を被せ、周囲に安全柵(写真下)を設置しました。

併せて、台風等による倒木被害の危険があつた仲木池南側堤防の大きな樹



伐採前

伐採後

定林寺観音堂敷地



農業用水路の安全柵



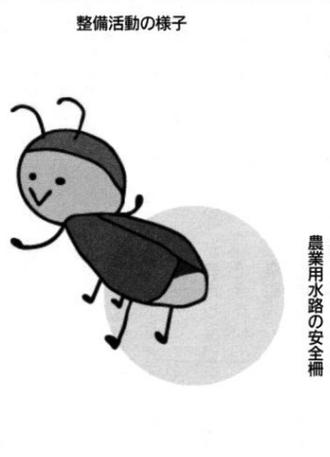
ZWAY式ランタン

木を伐採しました。一方で、市主催の「災害図上訓練(DIG)」及び北消防署による「AED(普通救命)講習会」に参加し、災害時の避難場所や応急手当と救命処置について体感できたことは有意義な取り組みでした。

何とかここまでやってこれたのは、私にとっての情報発信・収集の場と

なつた白山神社に集まつてこられる先輩達との何気ない話から発せられる深い言葉に助けられたお陰と感謝の気持ちしかありません。

最後になりますが、区民区会の皆様、そして三役の方にご理解・ご協力をいただきましたことを、この場をお借りして感謝・御礼申し上げます。ありがとうございました。



整備活動の様子



一年のふり返り

問題提起

でありましたがほとんど「駅前区行事」を行う事が出来た。ひとえに役員の皆様及び区民の皆様方に感謝です。そんな中で特記事項を述べさせていただきます。

1 駅前区「こども縁日」の開催

駅前区長 黒田利行
本年度駅前区選出の区長の体調不良により、五月より再度駅前区長を引き受ける事になり、昨年より二年連続で3回目の区長となりました。昨年同様、コロナ禍の状況下



2 「認知症」出前講座

女性部において、従来の女性部向け講座ではなく、「駅前区民」の皆様が集まるかと心配でしたが、保険センター定員といった30人ほどの参加でした。

3 駅前区初の女性町内会長

今までは、町内会長と副町内会長はありましたが、町内会長として

4 西本町三丁目の脱退問題

西本町三丁目が次年度より駅前区から脱退となり、これにより三町内が脱退となります。特にこの町内は世帯数が少なく、役員選出が困難(昨年度の区長選出会議で脱退決議の経緯あり)、それと同時に自治会費等の負担軽減が主な理由です。

5 連合区での活動に対して

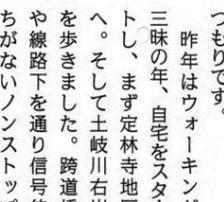
脱退町内の理由として、区長(職務が多すぎる)が毎年、選出にあたり問題になります。私も区長経験3回目ですが業態が以前と全く変わらず、市や連合区からの業務等をIT化等により合理化する必要を強く感じます。



一年を振り返って

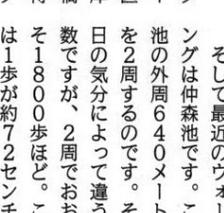
久尻区長 河合三男

ウイスコロナの段階と比べたなかでの区長就任でした。そのような中で楽しみはウォーキングでした。



仲森池ウォーキングコース案内図

外周コース 約640m
中周コース 約550m
232m, 142m, 73m, 335m



女性部の活動を振り返って

泉町連合区女性部長 永井 郷子
今年度もコロナ禍といふことで夏祭り、町民運動会など皆さんが楽しみにしている行事が中止となりました。そんな中でも「公民館まつり」から名称が変わった「泉町文化祭」の開催が決まりました。



女性部の活動を振り返って

泉町連合区女性部長 永井 郷子
今年度もコロナ禍といふことで夏祭り、町民運動会など皆さんが楽しみにしている行事が中止となりました。そんな中でも「公民館まつり」から名称が変わった「泉町文化祭」の開催が決まりました。



女性部の活動を振り返って

泉町連合区女性部長 永井 郷子
今年度もコロナ禍といふことで夏祭り、町民運動会など皆さんが楽しみにしている行事が中止となりました。そんな中でも「公民館まつり」から名称が変わった「泉町文化祭」の開催が決まりました。

しでも子供達に喜んでもらえたと思っています。また今回はこども縁日だけでなく、「ホラーバス(移動お化け屋敷)」も三起屋さんの協力のもと、大型バスにて実施させていただきました。子供達に大変喜んでいただきました。今後とも、大いに女性町内会長を歓迎します。

区としては今年度自治会費は40%以上の削減をし、区長及び各役員の職務軽減を実施してきました。また各町内の行事等における具体的な再編成を提案してきましたが、十分に町内の皆様に伝わらなかったことが残念に思います。

これまで「泉町体育協会」文化・スポーツ協「泉町文化」スポーツ協「協会」だっただけで、協会」に変更になりました。泉町恒例の新年行事です。来年も参加する

つもりです。
昨年ウォーキング三昧の年、自宅をスタートし、まず定林寺地区へ。そして土岐川右岸を歩きました。踏道橋や線路下を通り信号待ちがないノンストップのコースです。このウォーキングの目標は限りなく一万歩でウォーク後の歩数確認は楽しみでした。土岐市一周のウォーキングにも挑戦しました。これは泉町久尻をスタートし、土岐口、下石、妻木、鶴里、曾木、駄知、肥田を歩くコース。ほとんどは県道で、鶴里の白山神社でオニギリの昼食。コース終盤の肥田町内道路路壁を見て自宅へ無事に到着。このウォーキングの歩数は5万歩を越えました。私は団塊の世代です。もう二度と達成できない歩数だと思います。

そして最近のウォーキングは仲森池です。この池の外周640メートルを2周するのです。その日の気分によって違う歩数ですが、2周でおおよそ1800歩ほど。これは1歩が約72センチの歩幅なのです。
このようなウォーキングを楽しみながらの地区役員の仕事は「無理のない自治活動」をスローガンにしています。在任中には多くの皆様にご協力をいただきました。この紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

泉町連合区女性部長 永井 郷子
今年度もコロナ禍といふことで夏祭り、町民運動会など皆さんが楽しみにしている行事が中止となりました。そんな中でも「公民館まつり」から名称が変わった「泉町文化祭」の開催が決まりました。

泉町連合区女性部長 永井 郷子
今年度もコロナ禍といふことで夏祭り、町民運動会など皆さんが楽しみにしている行事が中止となりました。そんな中でも「公民館まつり」から名称が変わった「泉町文化祭」の開催が決まりました。

### 定林寺にキャンプ場

令和三年土岐市議会に土岐市総合活動センター周辺地域に「キャンプ場」を中心にレクリエーション施設を計画・整備することが市より説明されました。

これは土岐市都市計画マスタープランの一つで、自然環境に溶け込んだレクリエーション施設の開発にあたります。

現在、その開発計画具現化に向け、自主研究グループ「MIRRE TO KI」を立ち上げ、アウドア総合メーカー側スノーピークと共に開発・運営が決まっています。

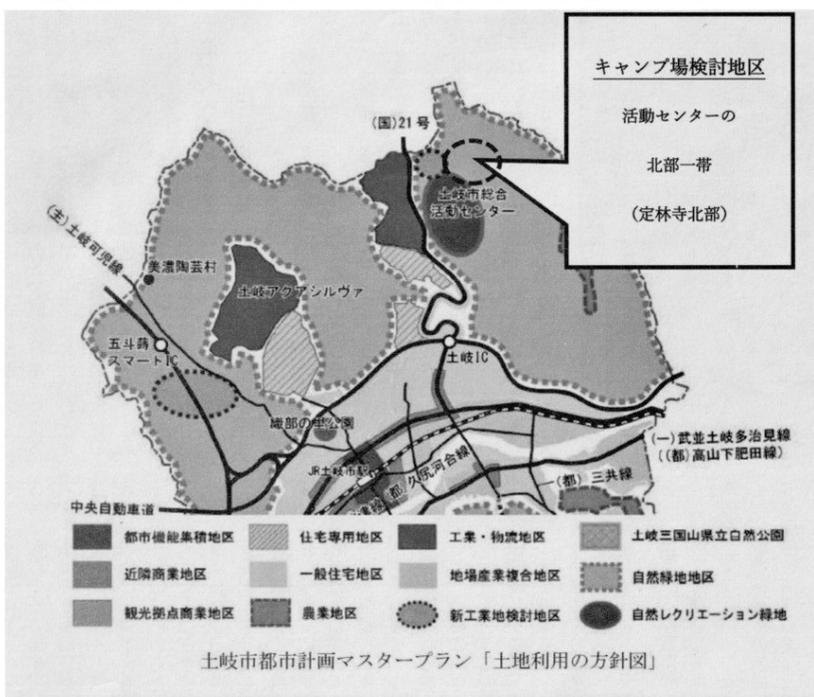
また昨年十二月三日、七輪、焚き火台を使った美濃焼体験、周辺の散策などモニタリングキャンプが現地で行われ、施設開発に向けた意見交換会が行われました。

2025年度オープンに向け一歩一歩計画が歩み始めていますが、下水、蒸し暑さ、地盤の弱さ、保安林エリアなど問題点も抱えています。

立地条件・静寂性・展望性など抜群です。これは関係者を含め多くの方々の協力で解決していくこととしよう。

またこの地は45年前前、キャンプ場のほかトランポリンなどがあるレクリエーションエリアでした。キャンプではテント張、キャンプファイアーや飯盒炊きさん(はんごうさいさん)など野外生活を学び楽しみました。遠くに御嶽山、中央アルプス、恵那山など望んだ思い出がよみがえります。

もう一度、キャンプ場再開発で多くの方々にこの地を味わっていただき、定林寺、泉町、土岐市の魅力を届けられることを望むばかりです。



### 地域のスリップ事故を防ぐ取り組み

泉が丘連合町内会

泉が丘連合町内会(泉が丘町1丁目〜6丁目久尻区)では、冬場の凍結スリップ事故防止のため業者に委託していた凍結防止剤散布を、令和三年度より経費削減の為に散布装置を導入し、町内会主体で散布を行っている。

軽トラックの後部荷台に装着した装置は、市から支給される凍結防止剤5袋分を一度に搭載でき、広範囲にわたり均等に散布が可能で、市民バス経路や通学路での事故防止に役立っている。

令和三年度より、泉西公民館から泉西郵便局交差点までの区間においては久尻区の間接整備の一部として散布を行っている。



本年度は融雪と凍結防止で、十二月から二月までの間に十回の散布を行った。

### 地域と連携

泉西小学校にクリスマスツリー



本年度は融雪と凍結防止で、十二月から二月までの間に十回の散布を行った。

ツリーの点灯は夕方五時から夜八時まで行われ、多くの来場者を楽しませた。学校運営協議会では児童に四季を感じてもらえるように今後も取り組んでいく予定である。

### 泉町連合区研修

令和五年二月十一日泉町連合区役員による研修会が行われた。

例年は、他地区の自治会、自治体などの取組を見学や、防災体験などを行っていたりしているが、コロナ禍でもあり、遠方への見学を避け地域の歴史などの再認識という形で、岐阜城での展示物を見学、岐阜市歴史博物館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を巡り研修とした。



### 編集後記

この一年、右を見ても左を見てもコロナウィルス話題であふれておりました。

社会全体で多くの行事や会合だけでなく旅行や外食まで制限を受け、コロナではなく何もできない病におかされてしまった感を受けました。

記事編集という大役を仰せつかって奮闘してはいたのですが、今や65歳まで現役で仕事をというご時世。当然編集部員も生活の為に仕事をしながらでありまして、万障繰り合わせしながらの編集会議の連続でありました。

追い打ちをかける様に、本年度5名の編集部員中3名がコロナに罹患するという事態になり、16回ほどある編集会議が総員そろそろ事態はまれという状態でした。

本年度編集部員は記事などの編集経験がほとんどなく、手探り状態からのスタートでした。数字にはめっぽう強い理系自営業者には、崇高な文学などに触れる機会がすくなかったため、正直な話この時期になっても文章の編集・校正・入稿の難しさ、縦書きの慣習や記述法、読点などの扱いなど要点がなかなかかめません。

印刷所に文章を差し込むのではなく、見て頂ける紙面を作りたいという考えから段数レイアウトも変更し、写真を多く使い、ここに文章を・・・という紙面作りを自力でやろうとした結果、大切な文章の校正見落としなど多くのミスが残ったまま発行をしてしまった悔いを残した一年となってしまいました。

読者の皆様にも多大な迷惑をおかけしたことを深く反省し陳謝いたします。

そして来年度こそよき年度でありますように心からお祈り申し上げます。

安藤 義雄

### お詫びと訂正

泉の自治だより143号において泉町文化祭の開催期間が十一月十五日(火)から二十日(日)となつておりましたが、訂正は十一月十五日(火)から二十日(日)となります。

